

見つめ直す。

居住環境学科は、生活という視点から、住環境を考えるユニークな学科です。居住空間・空調管理・まちづくりなど、さまざまな側面から、住まい“について幅広く専門的に学んできました。現在、建物の設備計画についての研究を進めているところです。将来は生活環境の視点を生かした建物の設備が、管理に関連する仕事に就きたいと考えています。

生活科学部 居住環境学科 4回生
Nishikawa Youhei
西川 洋平

生活科学部



21世紀型ヒューマン・ライフを

トータルに考え、科学的に研究する

ヒューマン・ライフを科学的に研究

生活科学とは、生活者・消費者の視点から、人間生活の質的向上をめざして、人間が人間らしく生きるための必要な条件を科学的に追究し、実践する学問です。

現代社会は、生活水準が急速に向上しましたが、栄養管理や健康増進、生活環境の保全、家族生活や地域社会のあり方、福祉の充実などさまざまな課題に直面しています。とりわけ、少子・高齢化は、日本社会が総合的に取り組むべき最重要課題です。また、経済社会のグローバル化に伴って、国際的な視野に立つた問題解決が求められています。そのため、生活科学はこれからますます重要視される学問の一つです。

生活科学部では、「食品栄養学科」「居住環境学科」「人間福祉学科」の3学科から構成され、「食」「居住」「心理」「福祉」「教育」などの分野の教育研究が行われています。

専門・学際・実践

「生活」を考えるためには、専門分野の研究だけでなく、あらゆる学問分野が交流する学際的研究が不可欠です。また、理論的考察にとどまらず、研究成果を現実社会に応用していく方法

学ぶことも必要です。そのため、生活科学部では実験・実習フィールド・ワークを重視しています。

専門家の養成

学部全体としては、人間の生活をさまざまな角度から捉えることができる幅広い視野を持った専門家を養成していくことを目指しています。また、専門家として積極的に社会貢献ができ、その専門家の中のリリーダールとして活躍できる人材養成をめざしています。したがって、この学部での講義・演習・実習などの受講は、受身ではなく、積極的な姿勢が求められ、全体として意欲的な人を求めています。

こんな学生を求めています！

基本的にはヒューマン・ライフ＝人間の生活全般に関心を持っている人には、ぜひ来ていただきたいと思っています。具体的には、社会的な問題や課題、例えば生活習慣病、拒食あるいは過食、自然環境、ユニバーサルデザイン、こころの発達、いじめ、ボランティア、高齢社会など（など）に関心を持っている人に来てほしいと考えます。また、食べ物のもの、食べ物の栄養、あるいは、食べるときの習慣などについて関心がある人、家そのもののインテリア、まちな景観、まちづくりなどに関心のある人、人の悩みに対する相談人の健康、人の介護などに関心がある人にも来てほしいと願っています。

生活科学部はわかりQ&A

Q 食品栄養学科の卒業後は？

A 健康増進のために指導できる専門家として活躍できます。卒業と同時に栄養士免許を取得することができ、さらに管理栄養士国家試験受験資格が得られます。これらの資格を生かして、病院、保健所、その他各種施設で専門的な仕事に就くことができます。また、食品関連産業で豊かな食環境を創造するために活躍することもできます。食品衛生監視員になる道も開かれています。

Q 居住環境学科ではどのようなことが学べるのですか？

A 住まいを中心とする居住環境の計画・管理に関する理論をはじめ、新しい技術を研究・開発する実験、居住環境調整等のフィールドワーク、デザイン・センスを磨く制作実習や設計製図など、幅広いジャンルの講義や演習が提供されています。自分に最も適した専門分野を選択して居住環境を創造する能力を養うことができます。教員とのマンツーマンによる卒業研究では、専門知識の応用力を磨きます。

Q 人間福祉学科では、どのような資格が取得できますか？ また、どのような就職先がありますか？

A 養護教諭の免許、社会福祉士および精神保健福祉士受験資格、心理士申請資格などを得ることができます。大学院に進学すると、臨床心理士受験資格や養護教諭専修免許なども取得できます。卒業後は、公務員として児童相談所、福祉事務所、家庭裁判所などに勤めたり、ソーシャルワーカー、発達相談員、カウンセラーなどとして、病院、各種の相談機関、高齢者・障害者福祉施設などに勤めたり、また養護教諭として学校の教員になる道もあります。



授業科目・講座一覧

生活科学部



ヒューマン・ライフを科学的に研究する3学科

食品栄養科学科

本学科では、バイオサイエンスを通じて健全な食生活とは何かを学び、21世紀型のヒューマン・ライフの基礎となる食品と栄養に関する実践的な知識を身につけます。そして、科学的な「食」生活についての専門家を育成するために、以下の2つのコースが設けられています。

【食品学コース】有機化学、生化学、物理学を主な基礎科目として食品成分や栄養価、生理機能などを学び、消費者の立場から食品関連産業の発展に役立つ人材を育成します。主な授業科目 有機化学Ⅰ・Ⅱ / 解剖生理学 / 生化学Ⅰ・Ⅱ / 微生物学 / 食品栄養科学概論 / 食品学総論 / 食品学各論 / 食品化学 / 食品プロセス科学 / 食環境科学 / 食品加工学 / 調理科学 / 食品衛生学 / 栄養学総論 / 栄養生化学 / 栄養生理学 / 栄養制御学 / 公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ / 基礎実験Ⅰ・Ⅱ / 食品科学実験Ⅰ・Ⅱ / 栄養科学実験Ⅰ・Ⅱほか

【栄養学コース】生化学、生理学を主な基礎科目として栄養素と人間の身体機能や代謝調節とのかかわりを学び、健康増進のために食生活の面から指導できる人材を育成します。主な授業科目 有機化学Ⅰ・Ⅱ / 解剖生理学 / 運動生理学 / 生化学Ⅰ・Ⅱ / 微生物学 / 食品栄養科学概論 / 食品学総論 / 食品化学 / 食品プロセス科学 / 食環境科学 / 栄養学総論 / 栄養生化学 / 栄養生理学 / 栄養制御学 / 臨床栄養学Ⅰ・Ⅱ / 公衆栄養学 / 公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ / 基礎実験Ⅰ・Ⅱ / 栄養科学実験Ⅰ・Ⅱ / 食品科学実験Ⅰ・Ⅱほか

居住環境学科

本学科では、21世紀型ヒューマン・ライフでの質

の高い居住環境を求めて、居住空間を中心に、生活用品やインテリアの設計・管理から都市における「まちづくり」まで、人間と環境にやさしい生活空間を考え、研究していきます。そして、それを適切に維持管理できる専門家を育成するために、以下の2つのコースが設けられています。

【住居デザインコース】デザイン理論を学ぶとともに、生活空間の設計、管理の理論と技術を学び、生活者の視点から居住環境の創造・維持に寄与できる人材を育成します。主な授業科目 居住環境学概論 / 居住環境学実習 / 建築材料学 / 構造力学 / 建築環境工学 / 建築設備 / 環境デザイン論 / インテリア計画学 / 地域施設計画論 / 建築一般構造 / 住居計画学 / 住文化史 / 建築材料・構造学実験 / 基礎設計製図 / 設計製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴほか

【設計システムコース】建築物の構造設計や福祉機器、生活機器の製品開発を学ぶとともに、CADなどの設計ツールや情報システム運用技術を学び、高度情報社会をリードする人材を育成します。主な授業科目 居住環境学概論 / 居住環境学実習 / 建築材料学 / 構造力学 / 建築環境工学 / 建築設備 / 住居安全学 / 地域施設計画論 / 空間認知論 / 建築一般構造 / 住居計画学 / 住文化史 / 設計システム演習Ⅰ・Ⅱ / 建築材料 構造学実験 / 基礎設計製図 / 設計製図Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳほか

人間福祉学科

本学科では、医学・保健学、心理学、教育学、社会学、経済学、社会福祉学などの多くの視点から、乳幼児期から高齢期までのヒューマン・ライフをトータルに捉え、また、個人・家族から地域・社

会までの幅広い視野で、よりよい21世紀社会を科学的に考えることができるように教育していきます。そして、さまざまな人々を専門的に支援していくことができるように教育していきます。そして、さまざまな人々を専門的に支援していくことができる専門家を育成するために、以下の3つのコースが設けられています。

【発達臨床コース】人間が成長していく過程で起こる変化や悩みなどを心身両面から学び、こころの発達支援ができる人材を育成します。主な授業科目 人間福祉学概論 / 発達臨床心理学 / 生涯発達心理学 / 教育臨床学 / 家族社会学 / 人格心理学 / 心理アセスメント / コミュニティ心理学 / 家族関係学 / 発達臨床心理学実験Ⅰ・Ⅱ / 発達臨床心理学実習 / 心理アセスメント実習ほか

【教育健康コース】発達の見地から教育と健康について学び、教育現場での子どもたちの学びと健康を心身両面から支援できる人材を育成します。主な授業科目 人間福祉学概論 / 発達臨床心理学 / 学校保健学 / 教育方法学 / 保育看護学 / 衛生公衆衛生学 / 養護概論 / コミュニティ心理学 / 教育相談学 / 教育哲学 / 統合教育論 / 統合教育論演習 / 保育看護学実習ほか

【福祉コース】社会問題の分析から政策まで、福祉を総合的に学び、諸問題に適切に対応でき、社会の現場で活躍できる人材を育成します。

主な授業科目 人間福祉学概論 / 社会福祉原理論 / 社会保障論 / ケアマネージャー論 / 児童福祉論 / 障害者福祉論 / 老人福祉論 / グループワーク / ケースワーク / 介護学 / 社会政策論 / 福祉経済政策論 / 社会病理学 / 共生社会論 / 社会調査法 / 社会福祉実習Ⅰ・Ⅱほか